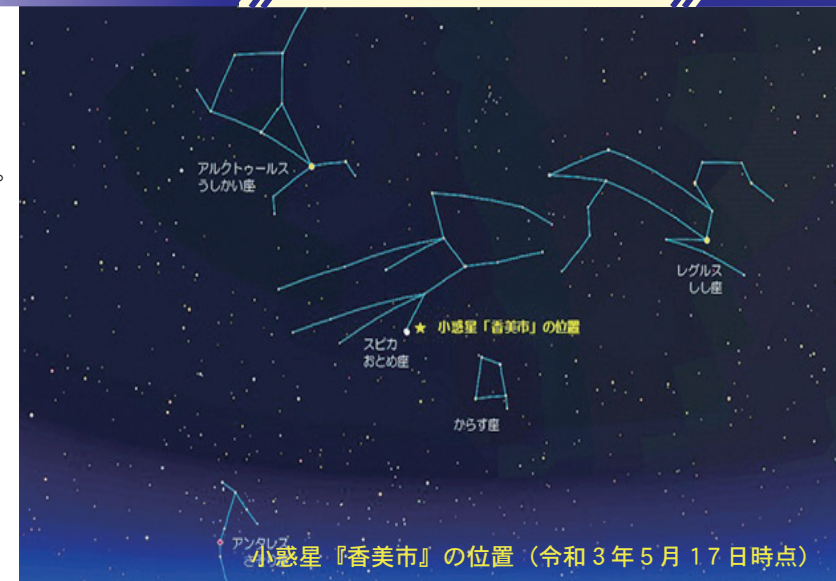


小惑星『Kamishi』誕生

5月14日、小惑星の一つが、国際天文学連合により、『Kamishi=香美市』と命名されました。この小惑星は、高知市在住で、『イケヤ・セキ彗星』の発見など、世界的にコメット・ハンターとして知られる関勉さんが、1988年11月6日に、県立芸西天文学学習館で発見されたものです。

小惑星『香美市』は、5月17日現在、おとめ座の1等星スピカのすぐそばにあり、地球からの距離は、約2億5,000万kmです。明るさは18.3等星と、大変暗く、肉眼では見ることができません。

命名に至った経緯は、令和2年1月12日に中央公民館で開催された『土佐の天文と谷秦山』と題する天文講演会で、講師を務めていた関勉さんと宮地竹史さん（元石垣島天文所長、本市出身）が、「星にゆかりの多い『香美市』という名前を小惑星に命名するのはどうだろう」との相談をきっかけに命名に至りました。



小惑星『香美市』の位置（令和3年5月17日時点）

大柵橋現場見学会

5月10日、香美市物部町への入口にあり、永瀬ダム奥物部湖の新しいシンボルでもある『大柵橋』の完成を記念して、県中央東土木事務所の主催で現場見学会が開催されました。なお、橋前後の取合せ道路の工事はこれからですので、通行が可能になるには、もう少し時間がかかります。

この見学会では、大柵保育園、大柵小学校、大柵中学校の子どもたちが、大柵橋を見学した後、舗装前の床面にメッセージや絵を色とりどりのチョークで書きました。晴天にも恵まれ、子どもたちにとって思い出に残る貴重な体験となりました。



▲水門の基準石を説明する講師の溝渕氏

3月4日、香美市観光リカバリー事業KAMI TRIP文化財を楽しむin香美市『野中兼山の土木遺産（県史跡・山田堰）と神母ノ木集落散策』が開催されました。

このツアーは、市補助を受けて（一社）香美市観光協会の主催で行われたモニターツアーで、県史跡・山田堰（土佐山田町小田島）や土佐山田町神母ノ木の商家や古民家を見学しました。

山田堰跡付近の堤防にある野中兼山を祭る春野神社では、講師である高知文化財研究所の溝渕博彦代表から「この石は明治時代に山田堰が災害を受け、復旧工事を行った際に、水門と水越しの高さの基準点としたものであり、重要なものである」と説明がありました。

山田堰跡では「兼山は100年、200年先を見据えて治水事業を行ったと言える」「山田堰は何度か修復されており、コンクリートを使っている堰跡は明治以降に造られた」と説明があり、参加者は当時の堰の配置や渡し舟などの説明も受け、当時に思いをはせていました。

図書館だより

Pick Up

◆香美市立図書館香北分館の移転のお知らせ

香美市立図書館香北分館は令和3年11月に、香美市基幹集落センター1階大会議室へ移転します。これに伴い、香北分館が令和3年9月1日から移転準備のため休館します。利用者の皆さんには長い期間にわたりご不便、ご迷惑をおかけしますが、よろしく願います。

◆青少年読書感想文全国コンクール課題図書

本館と香北分館では課題図書の貸出しを

ちなんだおはなしを楽しんだ後、レジンブローチを作りまます。夜には公民館主催の星空観測会を開催します。

おはなし会・レジンブローチ作り

【日時】7月31日(土) 10時～11時30分

【場所】物部分館 星空観測会

【日時】7月31日(土) 19時～21時

【場所】物部地区公民館

【問い合わせ先】物部分館 ☎52・9295

草木鳥鳥文様

梨木香歩 文 ユカワアツコ 絵
野鳥と植物の絵が描かれた引き出しが、古い家具の上に置かれ写真に納まっている。その絵と写真に響きあう、ユーモアと不思議に満ちたエッセイ36編です。

きせつのあそびはる・なつ

グループ・コロンブス 編著(理論社)
身近な植物や自然の材料を使った遊びや実験を、たくさん紹介しています。自由研究のヒントにもなりそうです。



◆夏休みおはなし会
物部分館では、小学生を対象におはなし会を開催します。夏の夜空に

読書リレー No.012
人はいつか死ぬのだから
小さな「気づき」は人生の恵み
鈴木秀子 著

香美市立図書館ボランティア堀正子さんのオススメ

新型コロナ禍で、明日の事が分からない不安の日々。元教育者でシスターである著者は、今ある命を存分に生きる、より良く生きる為には、『幸せは日々の暮らしの中にある』事などを書いています。改めて身の回りの生活を見直す機会になるかもしれません。

香美市森林環境税活用事業

かみんぐBABY木のギフト

～「木」が「木のギフト」になるまでの木の人生～
(木を植えるまで編)

木のギフトになるまでには、沢山の年月や人の手による作業が必要です。その過程を辿ってみましょう。木は苗畑という場所で「苗木」として育てて山に植えます。その前に、伐採した木の枝などを取り除く「地拵え(じごしらえ)」をします。次に、苗木を植えます。大体は人が苗木をしょって山に向かい、1本ずつ丁寧に植えます。また、苗木は山に住む動物たちの食害にあうので、食べられないようネットを張る必要があります。木が大きくなるためには、たくさんの工夫と対策が必要なのです。

香美市から木のギフトを受け取られた皆さんからの感想、写真を募集しています。投稿者の名前、写真、写真に映っている方の名前（ペンネームで構いません）、感想を下記メールアドレスまでお送りください。

香美市の赤ちゃんに『木のギフト』をプレゼントしています。詳しくは、新生児訪問の際にお渡しするパンフレットまたは香美市ホームページ内の特設ページをご覧ください。

【問い合わせ先】農林課林政班 ☎52-9283 ■rinsei@city.kami.lg.jp

